

令和2年産 紀南の梅産地情報

2020/04/17

1. 4月15日の定点調査では、小梅・古城・南高の着果数は、前年・平年より少なかった。着果程度の傾向としては、平坦部の着果はやや多く、山間部は少ない傾向であり、園地によるバラツキが大きかった。



■ 定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と着果率

品 種	令和2年				令和元年		平年 (H22~R1)	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
小 梅	15.3%	55	44%	48%	45.1%	125	31.2%	115
古 城	2.9%	10	38%	49%	10.2%	27	6.4%	20
南 高	8.4%	23	44%	59%	19.8%	52	13.1%	39
在来系	4.7%	13	26%	33%	11.0%	50	11.7%	39

2. 4月16日時点の定点調査の実肥りは、小梅 13.4mm（平年比 98%）、古城 18.0mm（平年比 93%）、南高 23.1mm（平年比 110%）となっており、南高の果実肥大は平年よりも6日程度早くなっている。
3. 4月17日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 515 トン（前年比 88%、平年比 62%）、古城 288 トン（前年比 79%、平年比 47%）、南高 16,838 トン（前年比 79%、平年比 76%）、在来系 299 トン（前年比 82%、平年比 57%）を見込んでいる。
生産量は今後の気象等により変動することがある。
4. 販売開始時期は、現時点で小梅・古城は5月中旬頃から、南高は5月下旬頃からを予定している。
5. 結実後の気温は、3月中旬は平年並みであったが、下旬はやや高く推移し、4月上旬はやや低く推移した。降水量は3月中旬は平年より少なく、下旬ではやや多くなり、4月上旬は少なくなった。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	2年	元年	30年	平年	2年	元年	30年	平年
3月中旬	10.8	10.1	12.3	10.8	8.5	26.5	47.0	42.0
3月下旬	13.4	12.6	13.2	11.6	44.0	15.5	21.0	37.4
4月上旬	12.8	12.1	15.0	13.8	27.5	2.0	13.5	47.4

南紀白浜気象データより